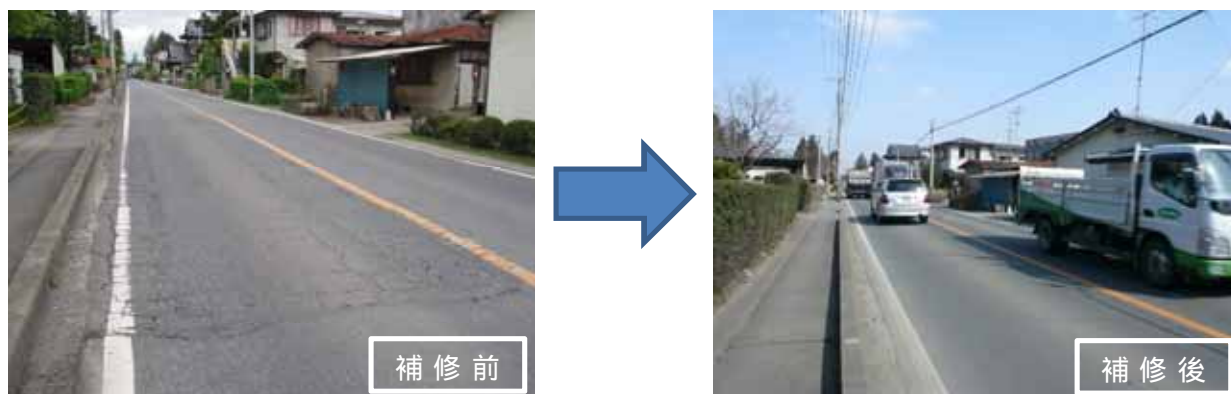


車両が安全に走行できる舗装及び橋りょう等の補修

地方道路臨時交付金事業により約55kmの補修を実施できました。

平成17年度～平成19年度の3年間で、地方道路臨時交付金事業（道路特定財源を原資とする）により、県道で目標48.0kmを上回る54.7kmの舗装及び橋りょう補修が実施できました。

損傷の激しい舗装の補修：（主）棚倉矢吹線 滑津工区の事例



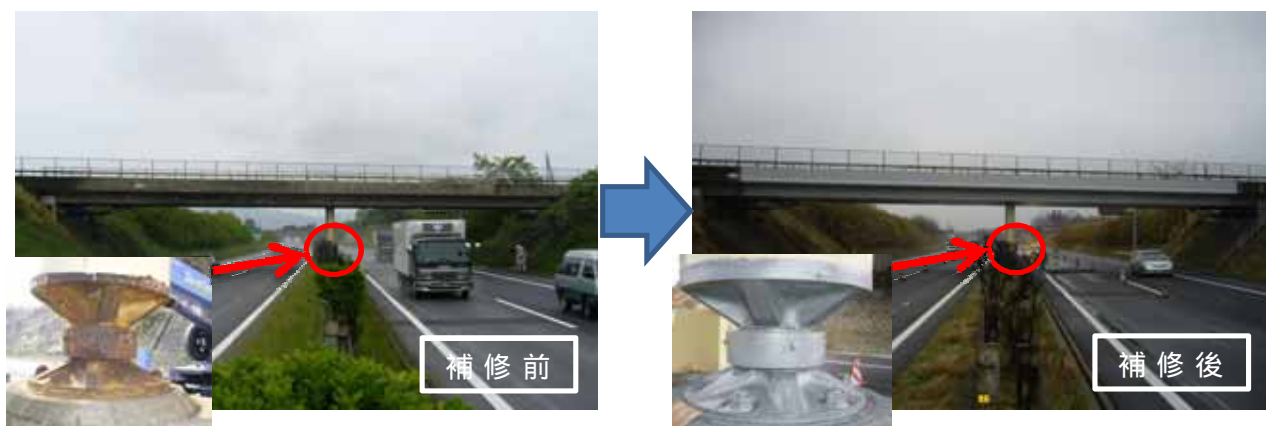
当路線は、一日の全体交通量が約8,000台で普通貨物車等の大型車交通量が一日1,000台を超える主要幹線道路ですが、舗装の損傷が激しく、下記のように周辺住民の生活や通行者の安全走行に影響を及ぼす状況でした。

ひび割れ・・・車両走行時の振動・騒音、穴ぼこの発生など

わだち・・・降雨時の水はね、自動二輪車の走行支障など

そこで、民生の安定や車両等の走行安全性を確保するため、舗装の補修を実施しました。

損傷の激しい橋りょうの補修：（一）仁井田郡山線 牛庭橋工区の事例



牛庭橋は（一）仁井田郡山線にある東北縦貫自動車道を横断する橋長36.9mの跨道橋です。

牛庭橋は、昭和48年に架設され設置後35年が経過している橋梁で、橋脚や床版等の劣化損傷が激しく、円滑な通行に支障を及ぼす状況でした。このため、平成19年度に損傷箇所のリニューアルを図り、安全で安心な通行機能を確認しました。

舗装及び橋りょう等の補修目標と達成状況

地方道路臨時交付金事業は、各自治体が成果目標を立て一定期間内にその達成状況を公表することとなっておりますが、この「舗装及び橋りょう等の補修」についての達成状況は以下のとおりです。

路線種別	補修延長実績			備考
	当初現況値 (H17当初)	補修目標値 (H19末)	補修実績値 (H19末)	
県道	0.0 km	48.0 km	54.7 km	目標達成

舗装及び橋りょう等の今後の進め方

平成17年～平成19年度においては、補修目標は達成しましたが、県が管理する道路の総舗装延長は約5,400kmに達しており、また、橋りょうにおいては全4,550橋あり、経年による老朽化等の進行は避けられない状況にあります。

よって、今後とも適正な巡視点検に基づく効果的かつ重点的な補修を行い、道路及び道路施設の安全安心の確保に努めてまいります。

(主)棚倉矢吹線
(白河市東釜の子)

<舗装損傷状況>



(主)会津坂下河東線
(湯川村熊の目)

<舗装損傷状況>



(一)田村安積線 御代田橋
(郡山市安積町)

<橋りょう損傷状況> 桁の錆、床版の損傷



(主)浪江国見線 伊達崎橋
(桑折町伊達崎)

<橋りょう損傷状況> 支承の損傷

